

『津付ダム建設事務所新築工事が完成！』

大船渡地方振興局土木部 津付ダム建設事務所



◆津付ダム建設事務所について

平成12年4月、津付ダム工事の推進のため、空き家だった町有施設(民家風)を仮事務所として活用した津付ダム建設事務所が設置されました。

津付ダムは、今後本格的な工事に入ることから、現事務所では手狭になるため、平成20年6月に世田米字川向地区(住田町役場東側)で、新事務所の建築工事に着手し、同年12月上旬に完成しました。



◆地域環境への配慮

建築物の用途や規模、地域産業の特徴(気仙杉の産地)等を考慮し、木造としています。

設備関係については、ペレットストーブの燃料となるペレットが住田町で生産されていることから、事務所内の暖房設備としてCO2削減効果のあるペレットストーブを設置しました。

◆事務所内の様子



ここがメインの職場です。現在の職員数は所長以下全部で10名。最大17人分の机が並びます。



ペレットストーブは地元産のペレットを使用しています。



左上) 会議室。巨大スクリーン(手動式)を完備。
右上) 会議室は可動壁により分割可能。
左下) 職員集合写真。12月8日の事務所開きに大船渡地方振興局土木部の皆さんとバチリ。

◆今後の事業スケジュール

今年度は、待望の新事務所建設の他、ダム湛水敷地の国有林について所管換処理や付替道路の用地補償、各種調査設計、工事用道路・2号橋梁下部工の工事を実施しています。

来年度は、国有林の所管換え処理やそのほかの用地補償を進める他、ダム関係の設計・調査を行いながら、本格的にはじまった付替国道工事を進めていきます。なお、付替国道は平成20年代半ばの供用開始、ダム本体は平成30年代前半の完成を目標に事業を進めて行きます。



【ダムの概要】

位置：岩手県気仙郡住田町
世田米字子飼沢地先
形式：重力式コンクリート
堤高：48.6m
堤長：165.0m
堤体積：105,000m³

【津付ダム建設事務所 公式HPはこちらから!】⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp4580>